

生涯美術論（△）——芸術支援としてのアートプロジェクト・美術教育、富山県関係者への提言——

学校法人高岡第一学園高岡第一高校教諭

松尾 豊

○目的

パブリックアート研究や人間の生涯に渡る美術への学びから見える、美術教育や芸術支援活動の問題点や課題の探究を前提に下記三点を目的にする。第一に、アートプロジェクト用語登場の背景や歴史と傾向、及び定義への論考。第二に、学校教育機関や生涯学習機関における「教育プロジェクト」が示唆する具体的実践例やその可能性と意義の考察。第三に、芸術支援者として見えてきた、富山県内の教育関係者、及び芸術・文化関係者への提言。

○概要

Ⅰ：アートプロジェクト用語の背景と歴史・傾向・定義

1、「アートプロジェクト」用語登場の背景

2、アートプロジェクトの歴史と傾向

3、アートプロジェクトの定義

Ⅱ：教育・学習型プロジェクトの実際と実践

1、「IZUMI WAKU」から「学校が美術館」前後

2、水と土の芸術祭…へみずつつちパラダイス」の実践

3、富山県内の教育・学習型プロジェクト

Ⅲ：教育・学習型プロジェクトの可能性と意義

Ⅳ：芸術支援者としての富山県教育・芸術文化関係者への提言

○結果（約二四年間の教育・研究実践者としての成果と課題）

Ⅰ：拙著の刊行（『新潟街角の芸術』『富山の野外彫刻』等）

Ⅱ：学会誌掲載や研究紀要の共同執筆依頼（「野外彫刻の帰納的考察」

「日本野外彫刻史試論」「彫刻シンポジウムの歴史と到達点（日本）」

「パブリックアートと美術教育」「パブリックアートと美術教育の接

点」「生涯美術論事始」「生涯美術論（Ⅱ）」「生涯美術論（Ⅲ）」等）

Ⅲ：研究発表や講演、及び新聞・報告書等の執筆依頼

Ⅳ：教科書指導書の二度に渡る執筆（「美術Ⅱ」用Ⅱ光村図書出版社）

△：平成二十二年三月、文部科学省告示『高等学校学習指導要領』への文言反映への貢献

△：問題点や課題克服を目的の富山県教育関係者、及び芸術・文化関係者への提言（①富山県教育委員会内に、富山県の実情に見合う美術を専門とする芸術科指導主事配置と教頭・校長への道作り、②富山県立高岡工芸高校の富山県立総合芸術高校への再編・改組の提言）